

2024年11月29日 発行



公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter No. 215

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11 嶋田病院
会 長：小澤 純一
情報通信部：小川智生

「士会活動のすゝめ」

職能局長 災害防災対策委員長
安土整形外科医院 蟹本信一郎

自身の士会活動を思い起こしてみると、1990年に理学療法士になると同時に福井県理学療法士会に入会し、当時は会員数70名余りの団体であったと記憶している。その当時、直属の上司であり、福井県理学療法士会の会長でもあったI先生より「士会の活動に参加しないか」と誘いがあり、最初に参加したのが福祉局健康部というところであった。まだ右も左もわからないままに諸先輩方からのご指導を受け、任期の2年を終了した。次の年からは、このニュースレターを作成している情報通信部の前身である広報部に配属されることとなった。当時はこのような立派な紙面ではなく、ワードプロセッサ（何かわからない方はググって下さい）で原稿を作り、輪転機で印刷したものを部員みんなでホチキス止めをしていた。そのような作業の中で諸先輩方との交流が深められたりしたものであった。その後も地域リハ委員会などに所属し、そこはPT、OT、ST協同の委員会であったため、他のリハ職と交流を深めることができた。社会局保健福祉事業部に在籍していた際には、地域の方々との交流や社会福祉士さんや保健師さんといった他職種との交流なども盛んに行われた。事務局診療報酬部にいた頃には、多くの後輩たちが入部してきて若い力をひしひしと感じたものであった。その後は当時の会長S先生より理事への立候補を促され、2002年頃より理事の一員となり現在に至っているところである。

これまでの士会活動で、お互い顔の見える関係の中での様々なつながりは、やはり何にも代えがたい財産となった。余談ではあるが、私が就職活動していた際、前述のI先生とS先生と3人で鍋をつつきながら就職が決まったのを思い出した。この時からすでに士会活動の序章が始まっていたのかもしれないと縁を感じる。

福井県理学療法士会は50周年を迎え、入会時70名余り（士会結成時は9名であったそう）だった会員は1000名近くまで増えた。さらに、当時目標にしていた士会の法人化も達成し、手弁当で行っていた士会活動も活動費が支給されるようになった。近年では、様々な集まりがWEB上で開催されることが増え、参加者の顔がわからず少し寂しさを感じるころではある。

これからの士会を担う若い皆様においては、ぜひ士会の活動に積極的に参加していただきたい。ブロック活動などもあり門戸は開かれている。そこで色々な人とのつながりを持ち人脈を広げ、理学療法士の明るい未来を切り開いて頂きたいと思う。また、同僚や後輩に未入会の方がいれば誘っていただき、士会活動を大いに盛り上げてみては如何でしょうか？

2024年11月29日

WORKING!

執筆：医療保険部 宮下崇先生

「職能局 医療保険部」

「新しくできた急性期リハビリテーション加算は50点ですよ、これは大きいですね。」

「でも、条件が細かくて対象患者が限られていますね。」

「しかも、早期リハビリテーション加算が5点減算ですよ、30日間算定できる加算なのに。」

今年4月の診療報酬改定後、当院ではこのような話題が上がっていました。急性期医療においては早期のリハビリテーション介入が一定の評価を受けた一方で、リハビリテーション全体の報酬を削減したという思惑を感じざるを得ない内容でした。病院によって対応に差が出る可能性もありますが、同じ診療を行っているのに減算となる状況が容易に想像できます。他職種でも診療報酬改定のたびに厳しい条件を感じている方は少なくないでしょう。

医療行為や医療職種の評価ともいえる診療報酬は厚生労働省によって決定されます。少子高齢化や社会保障費の高騰といった日本が直面する課題を受け、厚生労働省に課せられている命題は医療費全体の抑制となっていると思われます。そのような状況下でも、理学療法関連の診療報酬が認められるためには、理学療法のエビデンスを確立すること、すなわち効果を示す科学的な根拠が必要です。そして、それを国の政策に反映させる働きかけが重要であると私は考えています。現在算定可能な診療報酬点数は、決して自動的に与えられたものではありません。他職種との競合のなかで、諸先輩方が並々ならぬ努力を重ねて勝ち取ってくださった価値ある点数です。この功績に感謝しながら、可能な限り算定を行いましょう。そして次世代に引き継ぐために、我々の世代でも新たなエビデンスを示し、政策に反映させる働きかけを進め、理学療法がさらに認められるよう尽くしましょう。医療保険部では、先人たちの功績である診療報酬を、皆様の臨床活動に反映できるようお手伝いをさせていただきます。

前任部長である福井総合病院の久保直之先生が残された功績は非常に大きく、そのクオリティを引き継いでいくことは容易ではありませんが、蟹本職能局長、山岸担当理事のもと、医療保険部員一同、力を合わせて取り組んでまいります。至らぬ点多々あるかと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

2024年11月29日

執筆者：株式会社ウルル代表取締役
古川友厚先生

「施設紹介」

理学療法士のデイサービス PEP

私たちが働いている「理学療法士のデイサービス PEP」は、丸岡城から東へ徒歩2～3分のところにあり、株式会社ウルル(2019年10月10日設立)が2020年3月2日に開設した事業所です。新型コロナウイルス(以下、コロナ)患者が福井県で初めて確認されたのが2020年3月18日ですので、開設当初は利用者様が来てくれるのか非常に心配でした。コロナにいろいろと振り回され、集団感染、集団検査、長期休業と経験し、今日に至ります。

さて、皆さんは、「PEP トーク」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。「PEP トーク」とは、もともとアメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチのことです。アスレティックトレーナーの講習を受講している時に、この言葉に出会いました。

「PEP」という英単語は、「何かを略しているのですか?」とよく聞かれますが、実は一つの英単語です。「PEP」とは、「活気・元気・活力」や「元気づける」という意味があり、当施設に来られた利用者様を少しでも元気づけたいという思いから、施設名を「PEP」にしようと決めました。

当施設の特徴は、リハビリに特化した半日型デイサービスで、午前・午後共に定員21名、利用者様全員に理学療法士が個別リハを行っている点です。また、定期的に利用者様の身体状況を把握する目的で、運動器テストを行っています。利用者様が当施設に来られてから行ってもらうことは、①個別リハビリ②運動機器(8種類)での運動③物理療法の3つで、食事や入浴はございません。

開設初日は、利用者数が1名でしたが、現在では坂井市・永平寺町・福井市から約140名の利用者様に来てもらっています。「開設時に掲げた企業理念を貫けば、勝手に利用者数は増える」という根拠のない自信のもと、宣伝・広告・HPなしでここまで運営してきました。職員は、全員で9名、理学療法士3名、介護福祉士4名、看護師2名です。職員の高齢化が進んでいますが、皆気持ちはとても若く、現場は活気でみなぎっています。



2024年11月29日

事務局からのお知らせ 11月



◆ 会員の動向（令和6年9月末現在）◆

会員数：937名（勤務先会員 896名、自宅会員 41名）、施設数：201施設

新入会員：51名、休会者数：15名、退会者数：16名

※士会活動は皆様の会費によって運営されております※

◆ 理学療法士賠償責任保険について ◆

本会では、理学療法士を賠償事故から守り、会員がより安心して業務に専念できるよう、「理学療法士賠償責任保険」を設けています。従来は会員の任意加入のみとしていましたが、平成28年11月1日より、全会員※1を対象としたプランを導入し、「基本プラン（全員加入部分）」と「上乗せ補償プラン（任意加入部分）」と致しました。

※1：在会者のみ。会費未納者・入会手続き中・休会中・復会申請中は除く。

基本プラン（全員加入部分） [※保険料：本会負担]

★ 会員個別の加入申込み不要（対象会員へ自動付与）★ 保険料の会員個人負担なし（本会で全額負担）
補償内容

補償項目	支払限度額
身体賠償	1事故300万円（保険期間中300万円）

保険対象者

- 1) 在会会員であること
注1) 休会会員は対象外
注2) 入会手続き中・復会申請中は、年会費納入後、在会会員になってから対象
- 2) 年会費を納入済みであること
注1) 在会会員であっても、未納者は対象外

支払い事例（基本プラン＜身体賠償＞）

- 身体に障害のある者に対する理学療法士業務中の事故
例：右ひじ屈曲の関節可動域運動中、誤って上腕骨を骨折させた。
- 健常者に対する理学療法士業務中の事故
例：ケガの予防的処置として理学療法を行った結果、該当箇所を痛めてしまった。
- 研究・実験中の事故
例：教育・医療機関で臨床研修中、被験者にケガを負わせた。

上乗せ補償プラン（任意加入部分） [※保険料：会員個人負担]

本制度は日本理学療法士協会がお勧めする制度です。このシステムでは、団体保険のご加入手続きをインターネットで行っていただくことが可能です。

◆ 会員の皆様へ ◆

会員の皆様、平素より当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

2024年も残りわずかとなり、会員の皆様におかれましてはご多忙と存じます。体調を崩されませんようご自愛ください。



2024年11月29日

賛助会員

有限会社 奥義肢製作所様

福井県福井市二の宮 2丁目

北陸大学様

石川県金沢市太陽が丘 1丁目 1

株式会社 大塚製薬工場様

福井県福井市大手2丁目7-15 明治安田生命福井ビル 3F